

受賞おめでとうございます！



このたび、韮崎市名誉市民で、北里大学特別栄誉教授大村智氏がカナダ ガードナーグローバルヘルス賞を受賞しました。

ガードナー賞は1957年に創立された医学に関する世界的な賞であり、最近10年間でノーベル生理学・医学賞を受賞した28名のうち、20名がこのガードナー賞を受賞しています。

大村氏は40年余、抗生物質を始めとする有用な微生物由来の生物活性有機化合物の探索研究を行い、これまでに約470種の新規化合物を発見し、その内26化合物は医薬あるいは研究用の試薬として市販され広く使われております。

なかでも、この度の受賞功績としてあげられているが、抗寄生虫薬イベルメクチンの発見と開発に関するものであり、大村氏が最初に抗寄生虫作用物質を産生するバクテリアを発見後、米国メルク社との共同研究を進めた成果とのことです。

本年10月30日(木)には、カナダトロント市で授賞式が行われる予定です。



「ニコリ」来館者100万人

韮崎市民交流センター「ニコリ」の来館者が3月26日に100万人を達成しました。

記念すべき100万人目となったのは、藤井町南下条の浅川瑛君、敬君ら家族4人です。

当日は館内の子育て支援センターに遊びにきたとこのことで、母親の優子さんは、「週2～3回は来ており、100万人目ということでビックリしています。ニコリの良さをもっと多くの人に知ってもらいたい」と話していました。

インターハイを彩るポスター



本年、本市において全国高校総合体育大会のサッカー競技が行われますが、これに先立ち、全国高校総合競技別ポスターコンクールで最優秀作品に韮崎高校の古田茉穂さんの作品が選ばれました。茉穂さんによると、「シュートの瞬間を描き、丸はサッカーボールと日々の練習をイメージ、グラデーションはチームメイトがボールを繋ぐ様子を描いた」そうです。3月20日に市役所において、表彰式が行われ、横内市長より賞状と副賞が贈られました。



信玄公祭りで開催されました信玄グルメ横丁「粉もの決戦」において、韮崎にちの会の「にらまん」がみごと優勝の信玄公賞に選ばれました。「にらまん」は韮崎を元気にしたいとの思いから生まれたご当地グルメで、大判焼きサイズのにら入りのお好み焼きです。当日は、焼きそばやほうとうなどを提供する7団体が参加し、来場者による投票により優勝が選ばれました。韮崎にちの会の木内吉英会長は「にらまんを通してもっと多くの人に韮崎を知ってもらい、韮崎を元気にしたい」と話してくれました。今後も多くのイベントに参加して、韮崎市のPRをしていきたいとのこと。

粉もの決戦
「にらまん」優勝！